



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2018年8月6日]

第95回映画大使「オンリー・ザ・ブレイブ」

- ・ 期日 平成30年7月4日(水曜日) ※公開2週目
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

巨大山火事に命懸けで立ち向かった消防士たちの実話をもとに、『オブリビオン』のジョセフ・コジンスキー監督が映画化した人間ドラマ。

キャストには、アリゾナ州プレスコット市の森林消防隊員を率いるマーシュを『ノーカントリー』のジョシュ・ブローリンが、恋人の妊娠を契機にそれまでの生き方を改めようと地元の森林消防隊に入隊したマクドナウを『セッション』のマイルズ・テラーが演じる。その他にも『クレイジー・ハート』のジェフ・ブリッジス、『ビューティフル・マインド』のジェニファー・コネリーなどの実力派俳優が集結している。

2013年にアリゾナ州で発生した大規模森林火災に立ち向かう森林消防の精鋭部隊“ホットショット”の男たち20人の決死の活動と絆、運命を迫力ある映像で描き出す。



(C) 2017 NO EXIT FILM, LLC

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ★ 夢中になって観ていましたね！
- ★ 日の出町の消防団と森林消防隊が重なりました！
- ★ 消防隊の人たちの勇敢さに拍手を贈りたいですね！
- ★ この作品の結末は、心に残りました！
- ★ 今、生きている毎日を大切にしなければいけないな、と思わせる作品でした！
- ★ 私は消防隊の奥さんにはなれないなと思いました！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

この作品を観て、命と背中合わせの仕事というのは、もちろん日本でもありますが、国土も広いですし、気温や湿度関係もあると思いますが、あれほどの大火災は日本にはないですね。

この作品の森林消防隊の火災に対する対応方法を、驚きながら観ていました。

今、日本では、雨で大災害が起こる事が多いのですが、水の災害と火の災害とどちらが大変なのだろうかと思いつつ観ていましたね。

この作品の結末は、心に残りました。

Bさん

森林消防隊の人のような方は、いないとならない方だと思いますし、普段の生活を楽しむようにしないと火災に挑めないと思います。現場に行くまでの車の中でもチームで楽しくしていましたが、現場では逃げも恐れもせず火災に立ち向かっていく姿を見て、どこからその力が出てくるのかと思うほどでしたね。凄いと思いました。

この森林消防隊は、家族の人からみると難しい仕事なのではないかとも思いましたね。

終わりのほうのシーンの指揮官の奥様が、たくましく、そして綺麗な顔になられて輝いていたのが印象的でした。

Cさん

この作品を観ていまして森林消防隊の「ホットショット」がどのような位置づけなのかと思っていましたが、観ていたら「ホットショット」に選ばれる事が難しい事なのだとわかりました。日本の消防署やアメリカの消防署のシステムの事を知りませんでした。この作品を観て、森林消防隊が、資格審査を受けて「ホットショット」の資格が得られるのだとわかりました。「ホットショット」は一段と高い技術などがある隊に与えられる資格を受けた仕事でしたね。

自分の身も人生も犠牲にするような仕事を選んだ勇気は、私には想像できませんでした。

火災の凄さ、火災の意外な消化方法などもこの作品を観てわかり驚きましたね。

アメリカの森林火災のニュースを日本でも見聞きますが、この職業の方はたくさんいるのだという事がこの作品を観て認識できました。

指揮官のご夫婦は人助けの人生を歩まれているのだと感じましたね。

この作品の「ホットショット」の人たちの勇敢さに拍手を贈りたいですね。

Dさん

私は、アメリカの森林火災の状況や、森林消防隊の活動などについて、まるで知りませんでした。そのような状況でこの作品を観ていましたが、だんだん作品に引き込まれていきましたね。

消防隊の方は命をかけた仕事をしていましたが、それに対する家族のサポートの素晴らしさや、隊員の方の夫婦がとてもピュアなやり取りをしている事を感じましたね。

自然の凄さ、炎の表現にぐっとハートがとらえられた気がしました。

消防隊の方は一つの情熱のようなもので動いていったのかなと感じがしましたね。

指揮官の方のご夫婦が、しっかりと対話をし、向き合い、理解しあっている姿が素敵だったと思いました。

Eさん

最初の印象は、「子どもの頃に観た西部劇」でした。ただし、舞台は現代になっていますし、インディアンが「火」になっただけですが、そのような見方をしましたね。

監督は、消防隊の方たちは例え、全身が火だらけになっても最後まであきらめないという事を描きたかったのかな、と思いましたね。

私もそうでしたが、男性は、仕事をしていると家族の事はもちろん大切と知っているのですが、家族の事以上に仕事に熱中してしまう事がありますね。その事を知ってほしいですし、その事も描いているのかなと思いました。

アメリカの映画は明るく陽気に描いているのがいいですね。

Fさん

この作品を観まして、昔の事を思い出しながら観ていました。

Gさん

消防隊の方たちがどのような人たちだったのか、わかるような作品で、消防隊としての心意気などが随所に感じられました。

本当に指揮官は、根っからのリーダーで、職場でも家庭でも周りの人たちの事を想って、考えている人なのだなと思いましたね。

最初は、この作品の消防隊も最前線にはいけなくて、バックアップをさせられており悔しい思いをしていました。その頃の消防隊が日の出町の消防団と重なるような気がしましたね。消防団も消防署のバックアップをしていると聞いた事があります。一番前には出られないですが、後ろで協力をするようなところが似ているように感じました。日の出町の消防団は、大会があると日々訓練をしていますね。

消防署がたくさん無い時代に、自分たちで自分たちの町を守るのだという想いで、消防団は活動していたようなので、消防署が来るまでのあいだは、自分たちで守るという事だったのだと思います。その活動が今も続いているという事は、凄い事だと改めて思いましたね。

Hさん

毎年、夏場になりますとカリフォルニアなどの大火災、森林火災のニュースをテレビで観ていまして、火災は自然発火で始まるのですが、日本ではありえないくらいの規模なので、どのようなものなのだろうかと思っていたのですが、この作品で様子を知る事ができ、改めて凄い火災が起こるものだなと思いました。それに関連しましてこの作品のような消防隊があるという事も、この作品で初めて知りましたね。

このような自己犠牲が必要な、自分の命をかけなければならないような仕事は、私には到底できないのですが、そのような仕事についている方が本当に凄いなと改めて思いました。

先日の高円宮家の婚約発表の記者会見で、「明日が普通にあるとは思わない」と話されていたのですが、その事をこの作品を観ながら思い出していました。今、生きている毎日を大切にしなければいけない、と思わせる作品でした。

Iさん

この作品を観ていて、思った事は「子を持つ親は強い」という事と「人のために動く事は凄く力が出る」という事でした。

最後の「ブレンダン」のメッセージも素晴らしかったですね。そのようなメッセージを残せるのは、身心ともに鍛えているからなのかなと思いました。生と死をかけた戦いを日々している人たちの逞しさや、命の強さはそこにあるのかなとも感じましたね。

消防隊の方たちは、チームワークとお互いを信じあう事、心が通い合っている事で、毎回毎回勝利に結びつけてきているのかなと感じました。

途中からは、夢中になって観ていましたね。

私は消防隊の奥さんにはなれないなと思いました。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・いい作品でしたね。
- ・私の息子が消防団に入っているのですが、山火事は火元を探すのが大変だと言っていましたね。
- ・日の出町の消防団は大会で良い成績を取っていますね。
- ・「ホットショット」の審査をする時に審査員は、現場で審査していましたが、凄いですね。
- ・指揮官の夫婦間のやり取りがストレートで良いですね。
- ・相手(配偶者)がいる事は、幸せな事なのだと感じましたね。

まとめ

この作品は、上映時間が2時間を超えていますが、それだけの時間の長さを感じさせないくらい、作品に入りこむ事ができる作品でした。伏線も多く、その伏線をうまく使っており、前半の何気ないシーンが後半に大きな意味を持っていたりし、物語の構成に見事だったと思います。日本でも夏場にニュースで見聞きするアメリカの森林火災ですが、この作品を観る事により、その実情をするきっかけにもなると思います。この作品は実話をもとに作られています、その話を観る人の心に刻み、そして、心に残っていくような演出がされた素晴らしい作品であると感じました。

映画は是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.